

J-PARC物質・生命科学実験施設と高分子科学

大強度のパルス中性子・ミュオンを発生するJ-PARC物質・生命科学実験施設（MLF）では様々な材料および生体分子の構造およびダイナミクスを明らかにするための研究が行われている。その中でも高分子科学分野における研究は数多く行われており、学術だけでなく産業分野においても重要な研究成果を生み出している。MLFはその利用運転開始から10年を迎え、現在では世界最大のパルス中性子・ミュオン強度に至っている。本シンポジウムでは、高分子科学におけるこれまでの成果とともに、これからの展開について議論する。

主 催：J-PARCセンター
日 時：2019年9月27日（金）9：10～12：05
場 所：福井大学文京キャンパス工学系1号館1F 112M講義室
参加資格：高分子討論会参加者
参加費：無料
申 込：会期当日に会場まで直接お越しください。

プログラム

9:10-9:25

1. J-PARC MLFの現状とサイエンス

(J-PARC MLF) 金谷 利治

9:25-9:35

2. J-PARC MLFにおける産業利用

(CROSS) 宮崎 司

9:35-10:00

3. 中性子反射率測定によるポリマーブラシの界面構造解析

(九大) 高原 淳

10:00-10:25

4. 大強度パルス中性子による複合高分子薄膜の研究

(三重大) 鳥飼 直也

10:25-10:50

5. フェノール樹脂の構造とダイナミクス

(東大) 柴山 充弘

10:50-11:15

6. 高分子材料の力学物性制御に向けた中性子準弾性散乱測定

(東大) 眞弓 皓一

11:15-11:40

7. 高分子材料のミュオンスピン緩和測定で何が見えるか

(高エネ機構) 竹下 聡史

11:40-12:05

8. 中性子を用いたゴムの局所ダイナミクス

(住友ゴム) 間下 亮